

市長挨拶



田辺市は、平成17（2005）年5月1日に5つの市町村が合併し、面積が1,026.91㎢と、近畿地方最大の広大な市域となり、さらにその約88%を森林が占め、私有人工林面積も約5万haと全国有数の豊かな森林資源を有しております。

田辺市中辺路木材加工場は、昭和61（1986）年、地元雇用の創出と間伐材や山林内に切り捨てられることの多い小径材の有効活用を目的に設立しました。

自然豊かな山村部にある当工場では、全国でも珍しいひのきの台形集成材を製造しており、運営開始から30年以上にわたり、全国各所で床や壁等の内装部材や家具等にご利用いただいております。

また、令和元（2019）年度からは、全国の自治体に森林環境譲与税が

分配されており、国内における森林の適切な整備の重要性が改めて認識されております。

そのような中、当工場を運営することは、健全な森林の育成や森林の循環資源を有効に活用することにつながるだけでなく、世界的な取組であるSDGsにおける17の国際目標のうち、「15 陸の豊かさを守ろう」を主とする目標達成にも寄与するものと考えております。

これからも当工場を通じて、紀州材のすばらしさをお届けいたしますので、皆様方には、切って、植えて、育てる、循環型林業の重要性をご理解いただくとともに、今後とも変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

田辺市長 真砂充敏